

2008年3月期 中間期決算説明会



曙ブレーキ工業株式会社

代表取締役社長 信元 久隆
2007年11月14日

2007年度上半期業績

- 売上高・営業利益・経常利益で中間期の過去最高を更新

	実績	対前年同期差	対前年同期比
売上高	916億円	+54億円	+6.3%
営業利益	62億円	+1億円	+1.4%
経常利益	52億円	+1億円	+1.9%
中間純利益	22億円	▲6億円	▲20.9%
中間配当	前中間期:3円/1株→当中間期:5円/1株に増配		

上半期決算のポイント

■ 日本

- ・ 市況の一部価格転嫁進展
- ・ 税制改正による償却費増加影響
- ・ 第2四半期での受注増加
- ・ 原価低減による着実な効果

■ 北米

- ・ スポット値引きと市況の高止まり
- ・ 付加価値が高い製品の減少

■ アジア

- ・ インドネシアの好調

■ 欧州

- ・ 黒字化

2007年度計画

- 最高益更新を計画する。

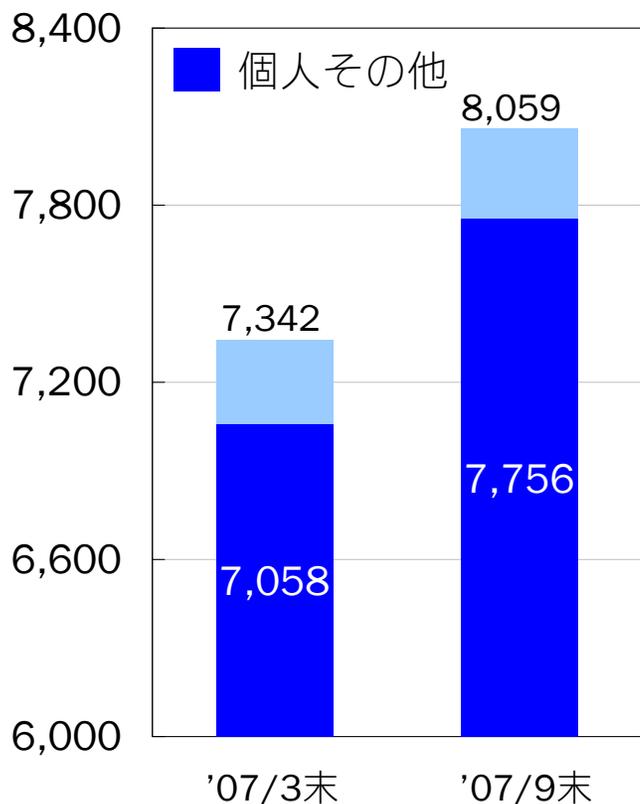
	計画	対前年同期差	対前年同期比
売上高	1,770億円	+38億円	+2.2%
営業利益	155億円	+16億円	+11.7%
経常利益	131億円	+9億円	+7.8%
当期純利益	73億円	+7億円	+10.1%
年間配当(予定)	前期:6円/1株→当期:10円/1株に増配を予定		

単元株式数の変更(7月19日発表)

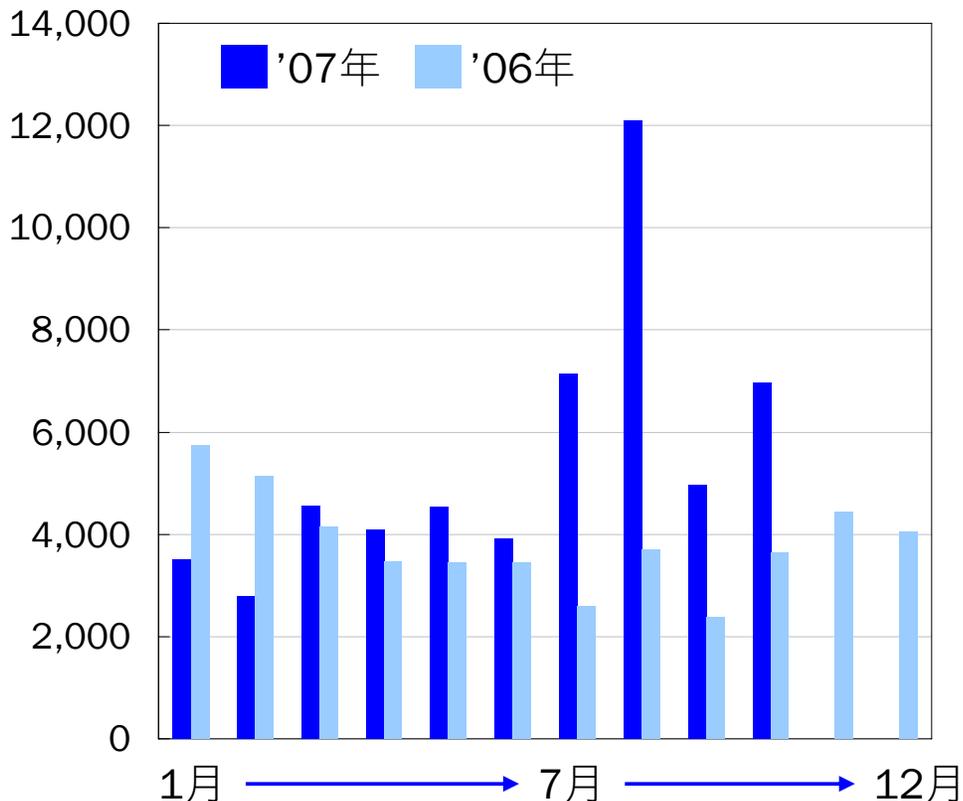
■ 10月1日から単元株式数を1000株から100株に変更

- ・ 株式流動性の向上・活性化
- ・ 個人を中心とする株主層の拡大

【株主数の増加】 ※単元未満株主を含む



【出来高の変化(単位:千株)】 ※立会い外取引を除く



次期中期経営計画の策定に向けて

次期中期経営計画でのポイント

- 収支のみにとらわれず、バランスシートから見た効率など、資本コストも意識した計画を策定していく

国内事業

アジア事業

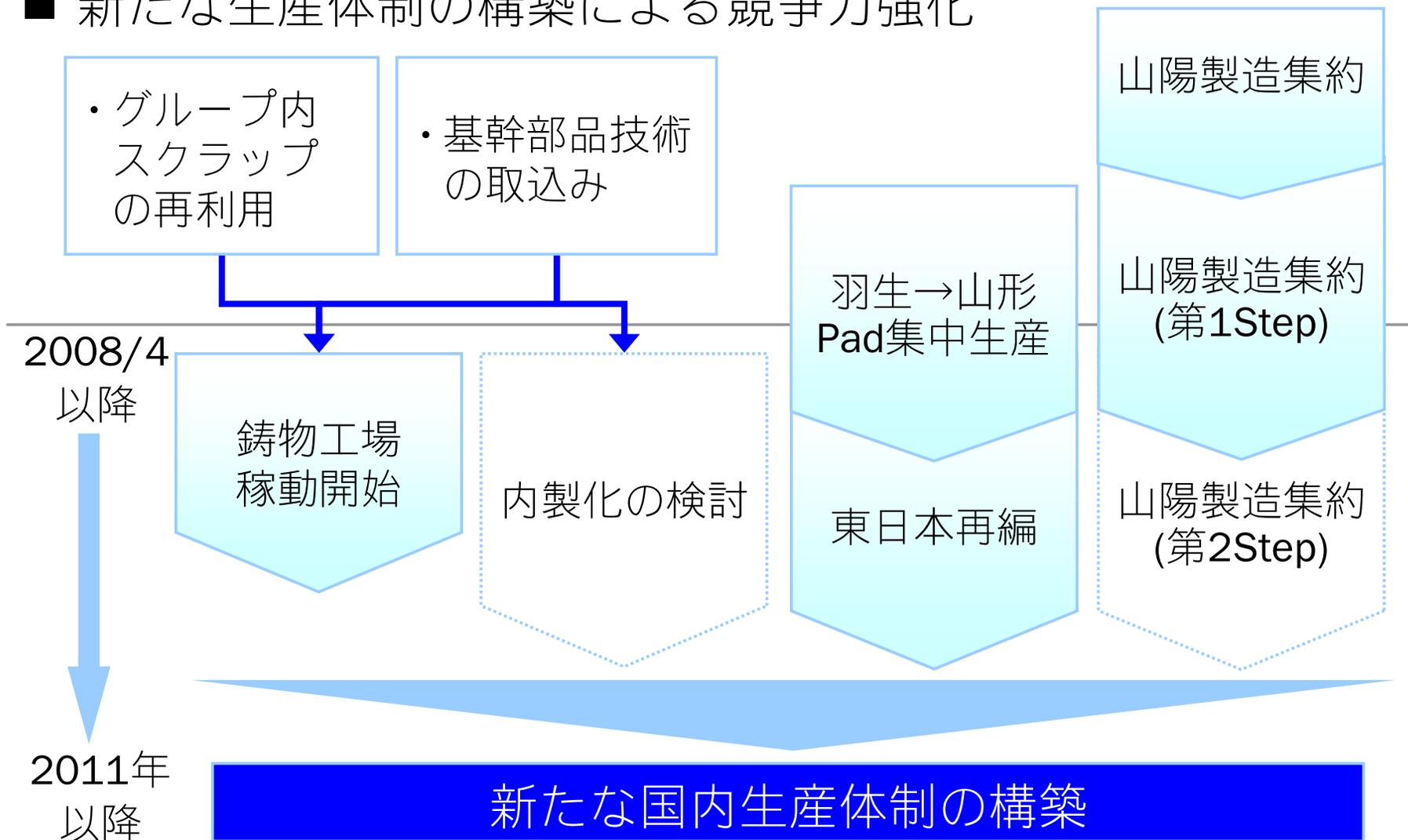
北米事業

非自動車事業

商品戦略

国内事業

■ 新たな生産体制の構築による競争力強化



アジア事業

■ タイ：アジアの中核拠点として

- ・ 摩擦材事業の展開
- ・ 乗用車向けビジネスについても開拓していく

■ 中国：着実な展開による拡大

- ・ 広州：＜現状の採用＞5車種→＜来期＞6車種を計画
- ・ 蘇州：＜現状の採用＞3車種→＜来期＞9車種を計画
- ・ 受注に合わせた分割投資
- ・ 中国市場適用ブレーキの開発
- ・ 原価低減

■ インドネシア：受注拡大とこれまで以上の収益性の確保

- ・ 二輪車向けビジネス拡大と四輪車向けの回復
- ・ タイ事業を活用したリスク分散

北米事業

■ 市場環境変化への対応

- ・ 原油価格上昇などによる消費者動向変化
 - 共通化・標準化
 - 設備投資・労働生産性の改善
 - 内製化の検討
 - 商品戦略の見直し



北米事業・体制の強化

- ・ 価格競争激化
- ・ ミドルレンジの参入障壁
- ・ 商品ラインアップ拡充、コスト低減



補修事業の見直し

非自動車事業の拡大

■ 産機鉄道部品販売の合併会社設立(10月1日)

- ・ 社名「曙ブレーキ産機鉄道部品販売(株)」
- ・ 新規お客様開拓と深掘りを中心に国内外でビジネス拡大を図る



市場調査を開始

■ センサー工場拡張

- ・ ビジネス拡大を視野に工場拡張工事中
- ・ サステイナブルプラントに向けた環境対策の導入



2010年からのビジネス拡大を計画

商品戦略の見直し -市場2極化への対応-

■ 共通化・標準化の深化

- ・ プロセスなども含めたこれまでの取り組みの継続深化

■ 高性能ブレーキの開発

- ・ プロ人材の育成
- ・ 将来技術への応用



Formula 1:日系ブレーキメーカーとして初の
オフィシャルサプライヤー

■ 欧州事業を次のステップに進める

- ・ 高性能ブレーキからの市場開拓



新Webサイト

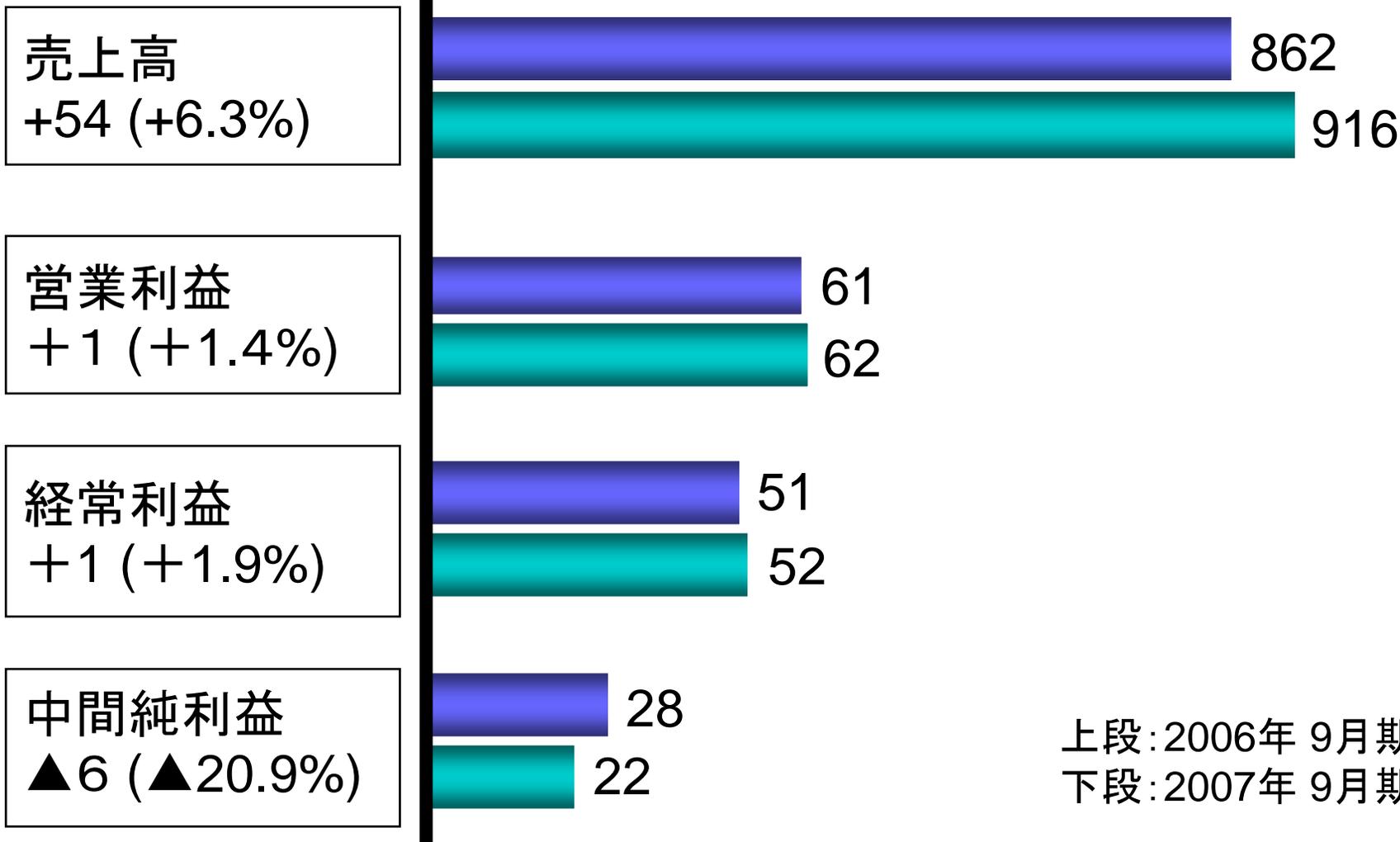
2008年3月期 中間期
業績説明

取締役副社長・CFO
荻野好正

2008年3月期 中間期業績概況

対前年差

単位:億円



上段:2006年9月期
下段:2007年9月期

2008年3月期 中間期所在地別概況

対前年差

単位:億円

	売上高			営業利益		
	06年9月期	07年9月期	増減	06年9月期	07年9月期	増減
日本	518	542	24	37	36	▲ 1
北米	345	367	22	24	21	▲ 3
欧州	19	30	11	▲ 1	0	1
東南アジア	41	50	9	3	5	2
中国	3	3	0	▲ 2	▲ 1	1
消去	▲ 64	▲ 76	▲ 12	0	1	1
連結	862	916	54	61	62	1

為替レート

06/9

07/9

US\$ 115.57 120.50 ※1-6月レート

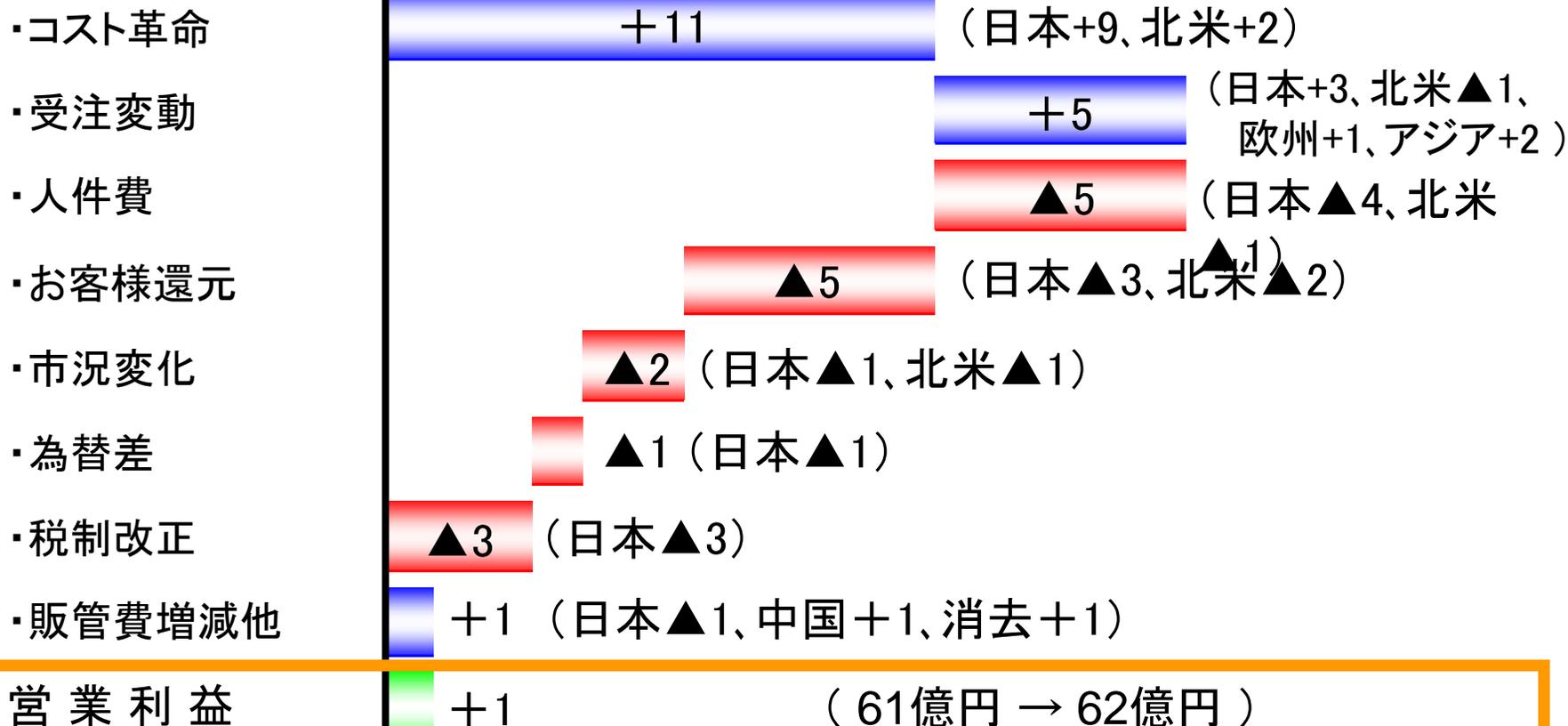
EURO 146.74 162.83

2008年3月期 中間期 営業利益の要因別増減

◆営業利益は62億円と、対前年差+1億円

対前年差

単位:億円



2008年3月 中間期 営業利益から純利益まで

前 期

単位:億円

営業利益 61

主な勘定

営業外収支 ▲10

経常利益 51

特別損益 ▲1

投資有価証券売却益 +6
資産売却損 ▲4

税前利益 50

法人税等 ▲19
少数株主利益 ▲3

中間純利益28

当 期

単位:億円

営業利益 62

主な勘定

営業外収支 ▲10

経常利益 52

特別損益 ▲4

固定資産売却 ▲1
その他 ▲3

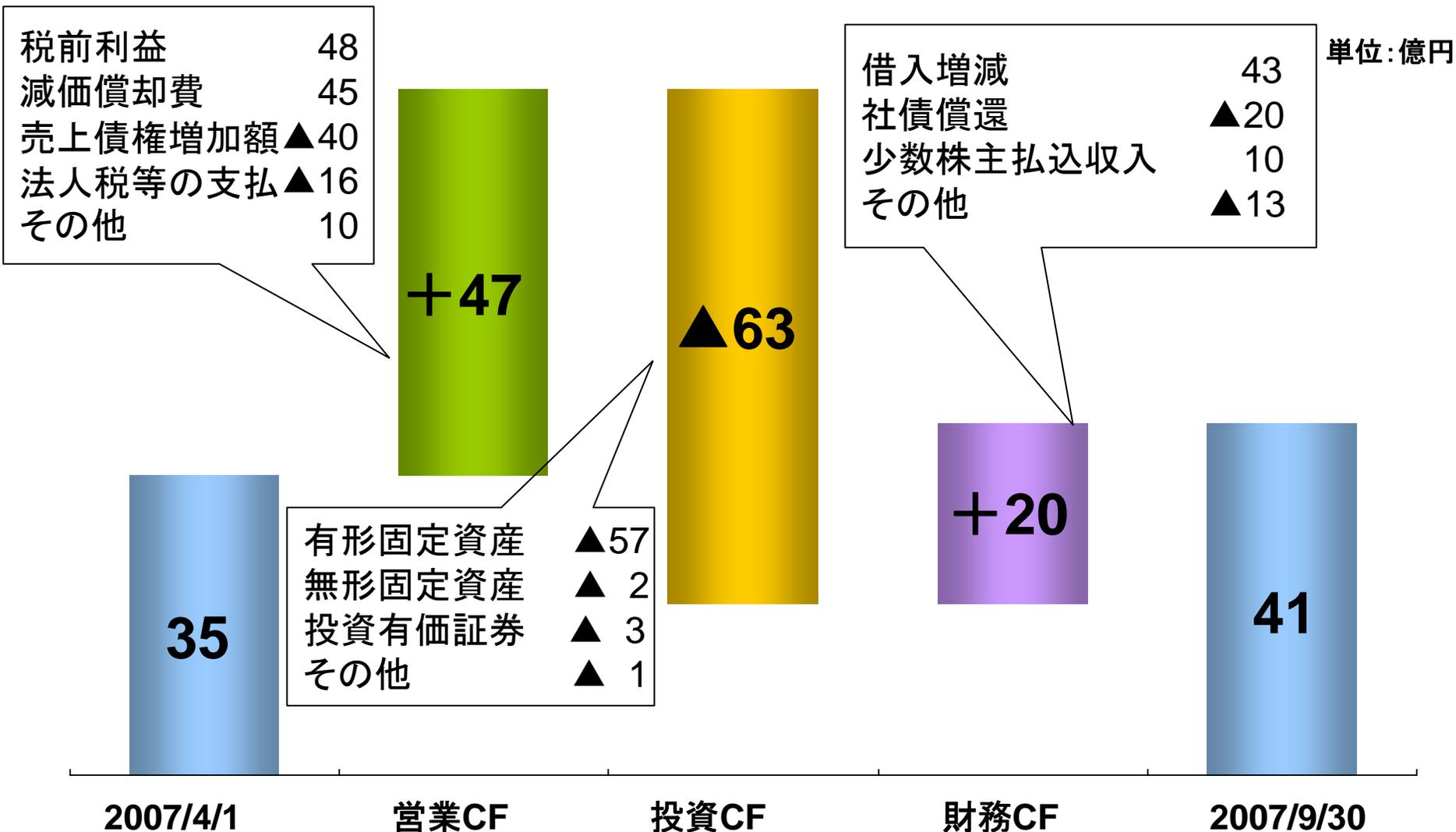
税前利益 48

法人税等 ▲20
少数株主利益 ▲6

中間純利益22

2008年3月期 中間期 キャッシュ・フロー

◆ 2007年9月末現金及び現金同等物残高は41億円で対前中間期末と比較し6億円増加

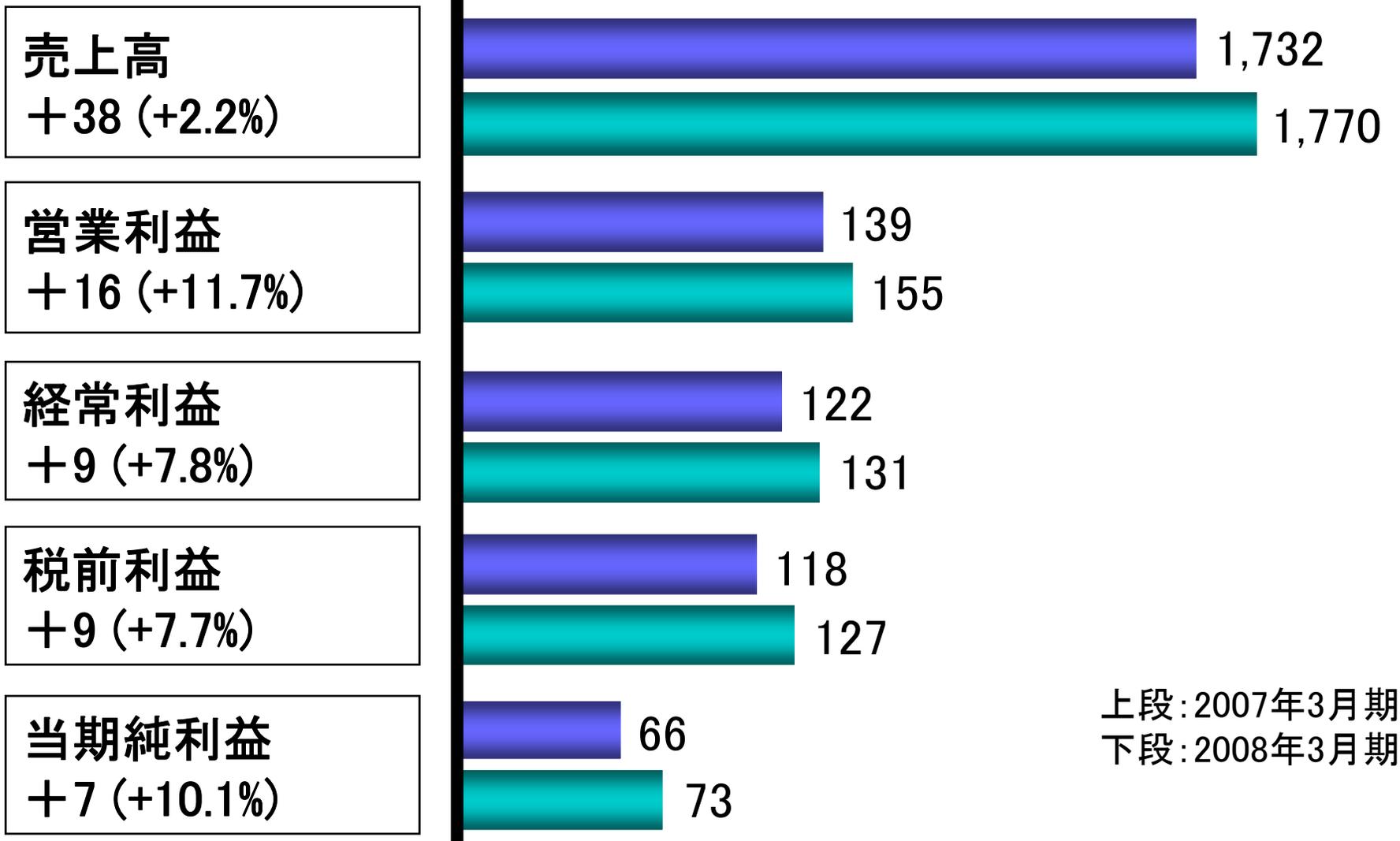


2008年3月期
計画説明(連結)

2008年3月期 通期計画(対前年比較)

単位: 億円

対前年差



上段: 2007年3月期
下段: 2008年3月期

2008年3月期 所在地別概況

対前年差

単位:億円

	売上高			営業利益		
	07年3月期	08年3月期	増減	07年3月期	08年3月期	増減
日本	1,060	1,097	37	89	96	7
北米	674	661	▲ 13	48	46	▲ 2
欧州	43	57	14	▲ 2	2	4
東南アジア	87	100	13	7	12	5
中国	6	7	1	▲ 4	▲ 2	2
消去	▲ 138	▲ 152	▲ 14	1	1	0
連結	1,732	1,770	38	139	155	16

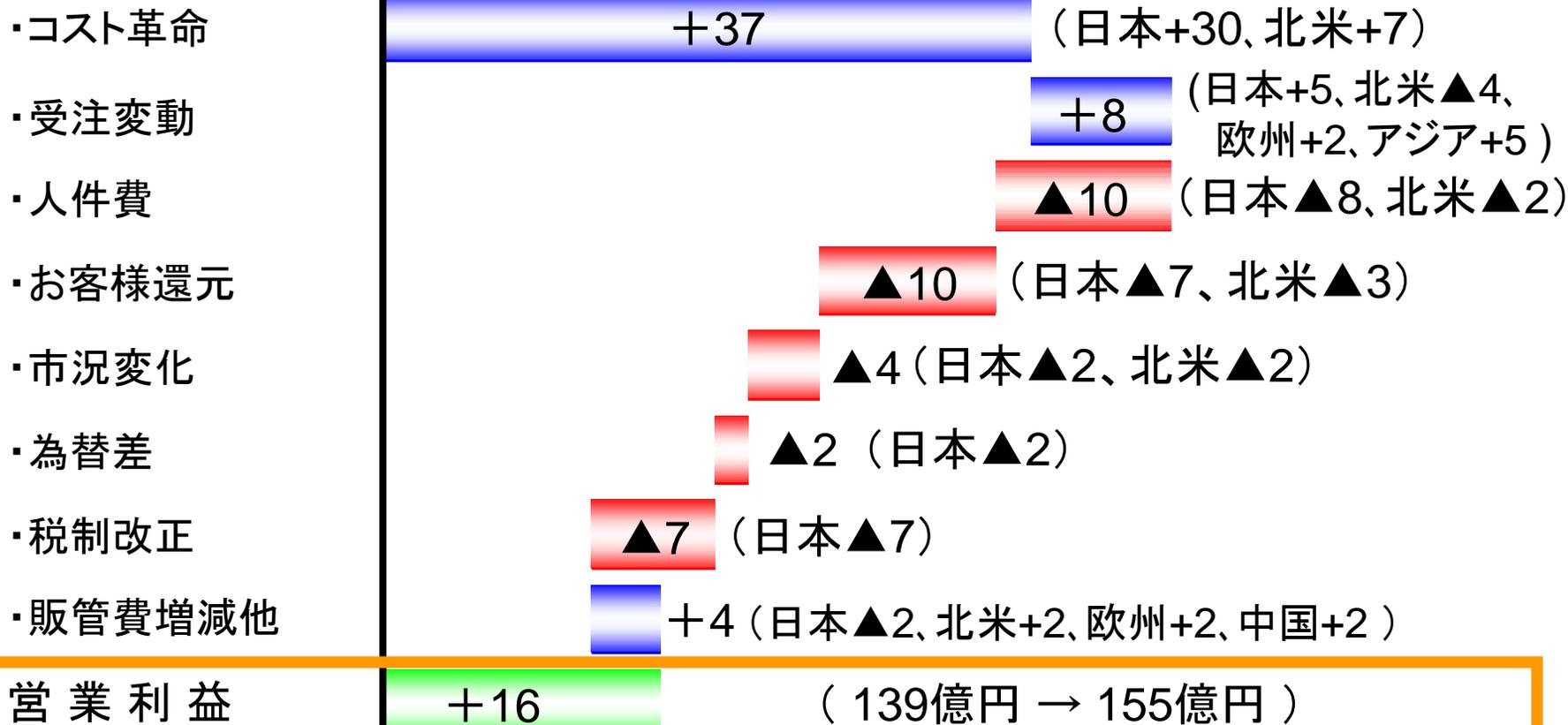
為替レート	07/3	08/3	
US\$	116.40	115.00	※1-12月レート(上期 120.50、下期 110.00)
EURO	150.95	160.00	

2008年3月期 営業利益の要因別増減

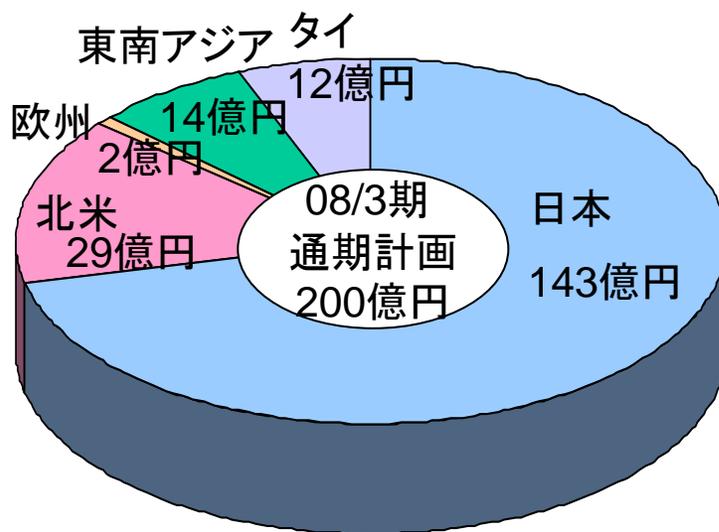
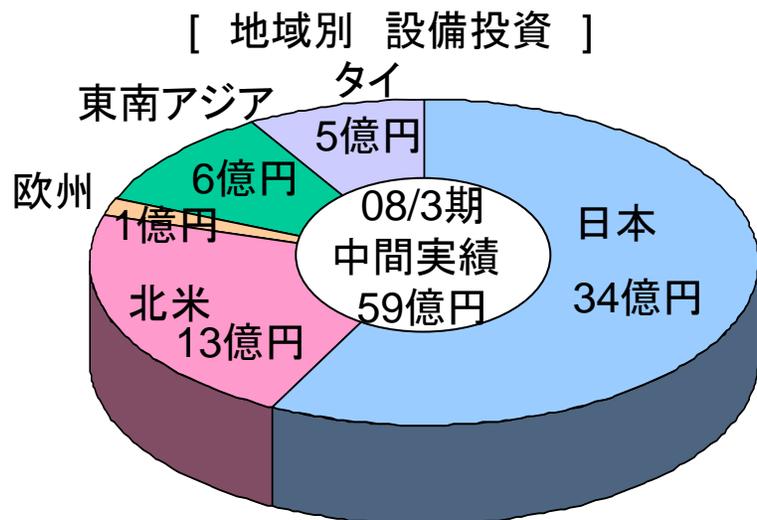
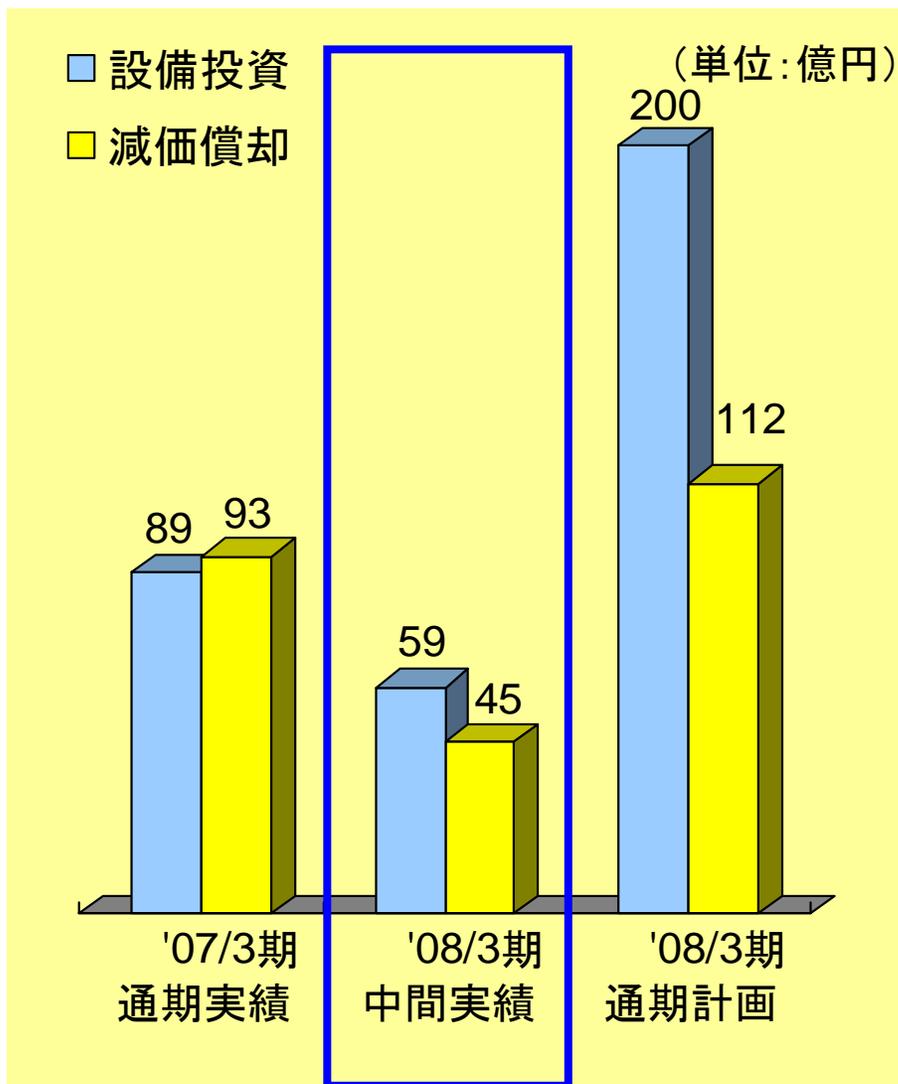
◆営業利益は155億円と、対前年差+16億円

対前年差

単位：億円



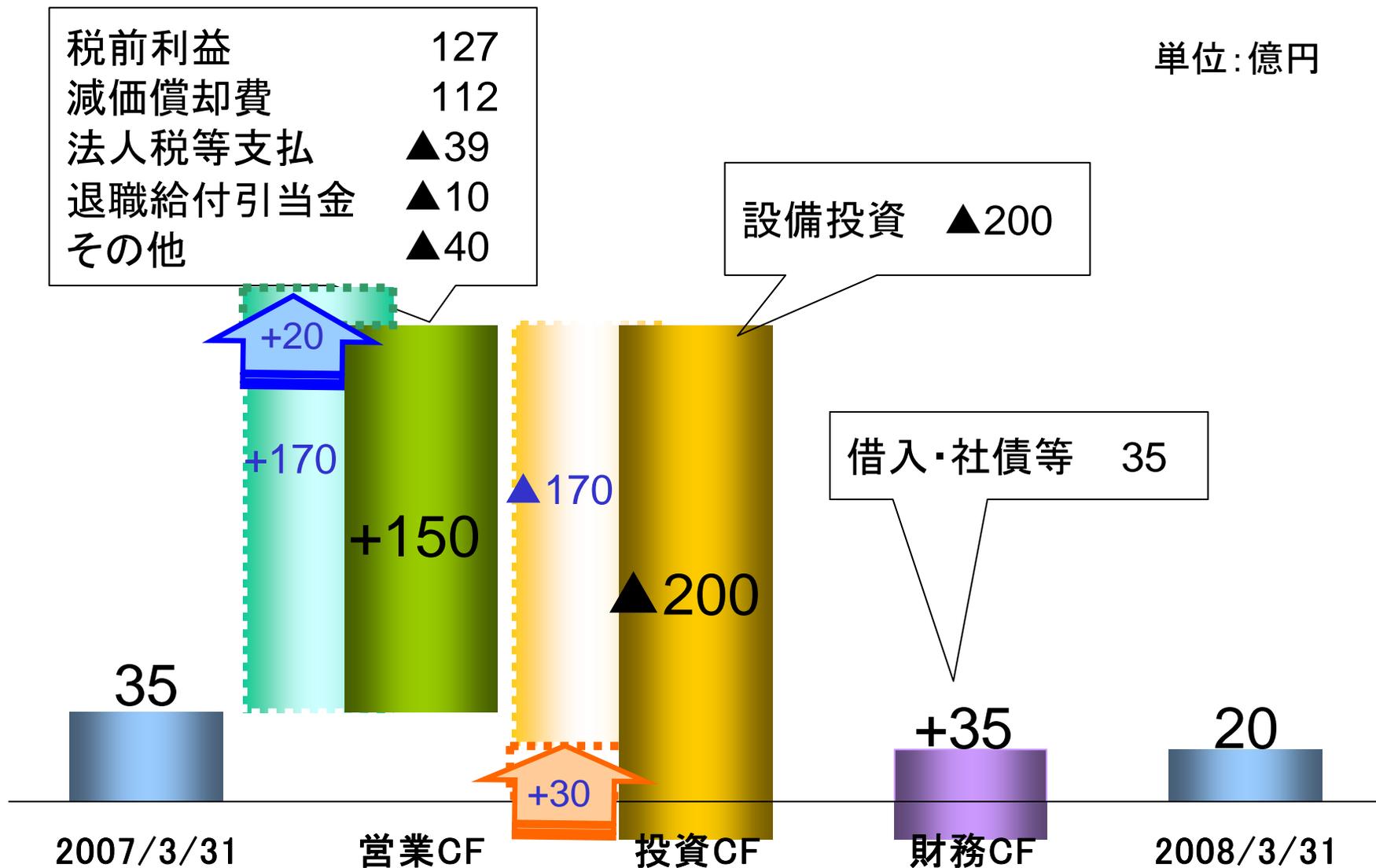
2008年3月期中間期及び通期 設備投資及び償却費



国内投資(主な増加要因)
 鋳物36、センサ・本店13、生産30、その他(新工法等)8

2008年3月期 キャッシュ・フロー

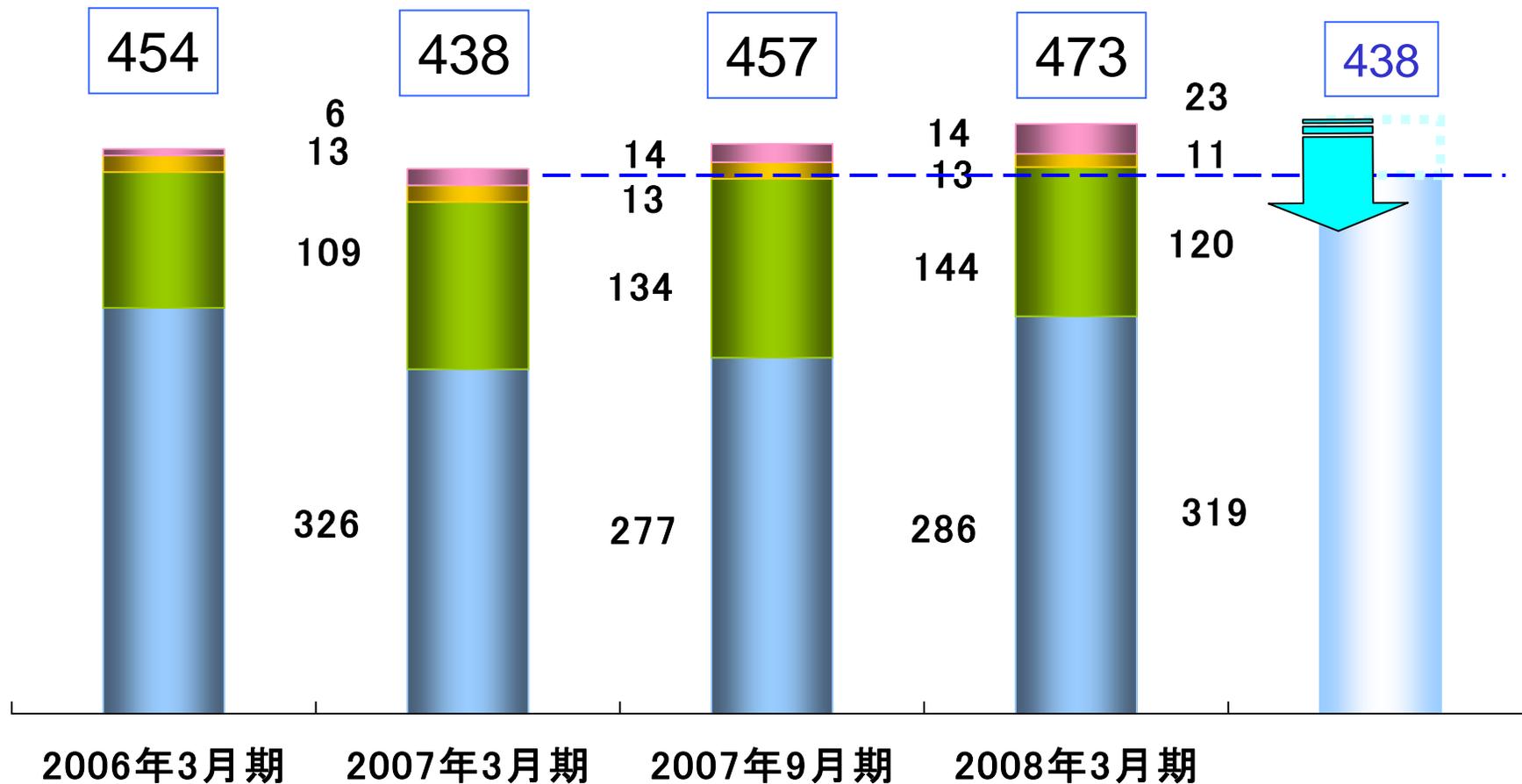
単位：億円



2008年3月期 通期計画 有利子負債

単位：億円

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中国その他



本資料における、計画は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化によっては、実際の業績が変動することがございます。